10月19日（月）

待ちに待った
年長スペシャルデー!!
思いきり楽しみました。

大型バスに乗って、わくわく，ドキドキしながら広島大学の生態実験園に向かいました。森の中を歩いて、川遊びの場所につきました。肌寒い朝だったので、ビーチサンダルではなく長靴に履き替えて、足下に気をつけて川の中に降りていきました。うっそうとした茂みの中を、歓声を上げながら探検しました。蜘蛛の巣を小枝で払いながら、『トトロじゃね～』という声も聞こえました。長靴はやはり歩きにくいようで、途中でサンダルに履き替えて出直す子どもたちもいましたよ。

木の幹や大きな石に掴まったりして，滑らないように考えながらどんどん進んでいました。

大興奮でした。

最初の場所に戻って、お弁当を食べました。園長先生も来て下さって、お話をしたり、一緒に栗を見つけたりして遊びました。

チクチクのイガに入っている栗を見つけて苦労しながら実を取り出したり、バッタやカマキリを捕まえたり・・・楽しく過ごしていましたよ。生態実験園の塩路先生に、虫や植物のことを教えてもらっている子もいました。

塩路先生や園長先生も一緒に集合写真を撮りました。

10月に入ってのスペシャルデーは、今回が初めてでした。朝夕の冷え込みが心配でしたが、さわやかな秋空の下、秋の日差しをいっぱいに浴びて、たくさんの体験ができました。

秋の草花がたくさん咲いていて、季節を感じながら森の中を歩きました。

10月19日（月）

待ちに待った 年長スペシャルデー!! 思いきり楽しみました。

　次はいよいよ、ビオトープです。重いリュックサックを担いで、広大の構内を歩くこと20分。塩路先生が、網やバケツ、竿などの準備をして待って下さっていました。網の使い方等の説明を聞き、みんな我先にと網や竿を持って思い思いの場所に行き、一生懸命に生き物を探しました。ザリガニ・ゲンゴロウ・アカガエル・メダカ・ヤゴなど、たくさんの生き物を見つけて、またまた大興奮でした。

　捕まえたザリガニを別の水槽に入れて、スルメイカをつけた釣り竿で、「ザリガニ釣り」もしました。小さな赤ちゃんザリガニを手のひらに載せて、足が10本、はさみのギザギザもついているのを見て、感動していましたよ。『生き物は元いたところに返してあげることが大切なんだよ。ここで生まれて大きくなっているからね。』という塩路先生のお話を、うなずきながら聴いていました。『バイバーイ』『元気で大きくなってね』と言いながら、生き物とお別れしていましたよ。

　今回は虫取り網も準備して下さっていて、広い原っぱでバッタやチョウを追いかけることもできました。緑の草の上を歩く度にバッタがぴょんぴょん跳びはねて、『いっぱいいるよ〜!』と、興奮しながら夢中になって追いかけていました。

　草の上はとても気持ちよかったね。

　幼稚園に戻ってからは、夕暮れ時の園庭でみんなで遊び、いよいよ大好きなカレーライスの時間です。『お腹すいたー!』とみんなよく食べました。夜になって，グループごとに夜の学校園の探検に出かけました。懐中電灯の明かりを頼りに景雲台や小学校裏を探検して、もちもちの木になっているプレゼントの実をゲットして帰ってきましたよ。プレゼントの中身は、打ち上げ花火でした。中学校のグラウンドで、大きな音ときれいな花火を楽しみました。みんな、寒さを忘れて大喜びでした。